



研究部会報告

●最適化とその応用●

●第5回

日時：10月25日 14:00—17:00

場所：九州大学経済学部 4階408号室

出席者：10名

テーマと講師：(1) The roots of stagflation and the dynamics of stabilization policy in a stagflationary economy (藪田雅弘・福岡大・経済)

(2) 優先権つき伝送を行なうローカルネットワークの諸性質とOA化への考察 (時永祥三・九州大・経済)

●第8回

日時：11月15日 14:00—17:00

場所：九州大学経済学部 4階408号室

出席者：13名

テーマと講師：(1) 都心の空間構造評価について (斉藤参郎・福岡大・経済)

(2) 通信網における入力規制制御 (福田晃・九州大・総理工)

●政策科学 (関西) ●

●第14回

日時：11月8日(土) 14:00~16:30

場所：芦大クラブ 出席者：23名

テーマと講師：

「本社におけるDSSの現状と問題点」

蒲田 卓恭 (住友金属工業㈱システム部統合システム開発室)

「カナダの組織マネジメントシンポジウムに参加して」

森 健一 (滋賀大学経済学部)

要旨(1) 企業情報システムの個別計画立案業務と非定型情報分析への対応、3階層のデータベース群からなる一般的な情報体系概念とその生産管理システムと販売管理システムでの具体例。最後にDSSの機能、個別政策検討用モデル/プロシージャーの必要性、問題解決/解析手法のユーザー部門での理解などについての問題点が述べられた。

(2) カナダのバンクーバーで開かれた第2回ODAM (Human Factors in Organizational Design and Management) シンポジウムの模様を報告。各セッションといくつかの興味ある発表が紹介された。

●待ち行列●

●第28回

日時：11月15日(土) 14:00~17:00

場所：東京工業大学情報科学科会議室、出席者：28名

テーマと講師：

Q28-1 Various Techniques for Embedded Processes in Queueing Theory(GDR・Dieter König) Point Processの観点から、待ち行列理論で使われる解析手法を分類し、解説した。

Q28-2 個別受注生産型待ち行列について(電通大・松井正之) 個別生産工場における種々の受注選択方策について考察した。

●DP●

日時：11月25日(火)18:00-20:00 場所：日科技連

出席者：4名

テーマと講師：安田正実

「単調なマルコフ決定過程とその応用」

マルコフ決定過程の特別なモデルは単調な最適政策をもつことが知られている。最適政策が単調であるとは、システムの状態空間と行動空間にあらかじめ順序が存在している場合、状態が増加するにしたがって、対応する決定に関しても増加することをいう。応用として平滑問題を述べ、最適停止時刻問題との関連にふれる。確率率異制御問題も同じ範疇に属することを注意する。

●社会経済分析●

日時：11月22日

場所：東京都勤労福祉会館

出席者：15名

テーマ：情報の経営へのインパクト(情報経営実態論)

情報が企業経営にとってどれだけの価値があるのかを实態として把握しようとしたものである。情報は一般的な財とは大変違った価値をもち、金銭的あるいは会計的に掌握することは困難な面があるが、どこにどのようなかわり合いをもって企業活動を支配しているかという定性的な分析はきわめて示唆に富むものがあった。情報産業の今後の方向についても問題点が浮きぼりにされた。

●新社会システム●

●第10回

日時：11月13日(木) 10:00~12:00

場所：北海道大学工学部

題目：コンピュータの新しい使い方

一人とコンピュータの知的共同作業一

講師：栗原正仁(北海道大学工学部)

人工知能技術の進歩により、コンピュータもある程度の知的作業ができるようになってきた。本講演では特に項書き換えシステムによる問題解決の手法を、講師らの開発したシステム Thinker を用いた2つの事例に即して説明していただいた。

■会員近況・声■

福馬敏子 法政大学 工学部経営工学科

このところSE用適性検査について興味をもっております。ここ数年来入社試験を受けてきた学生からの情報によりますと、おおかたの会社で試験といえば適性検査が行なわれ、専門については面接時にわずかに質問を受ける程度だということです。大学側にとっては、いささか佻しくも感じられます。

最近の経営工学科の就職状況を調べてみると、情報処理産業(生産会社、銀行などの情報処理部門も含む)からの、いわゆるSEの求人は増え続けており、この傾向は文科系学部にもおよびつつあります。そのような折り、某会社から、ある先生がSE用適性検査の相談を受けました。「適性の有無で就職後の仕事率に差ができるが、一般に使用されている検査ではよくわからない。なかには検査集なるものを所持して訓練を積んでくるものがある。」のだそうです。さっそく協力することになり、来年度の実施に向けて問題作成のための調査をはじめました。4年生を被検者にして、SEに不可欠な因子の分析を試みました。これがなかなか、あらかじめ予想した仮説にあてはまらなくて苦慮しております。

ともあれ、問題のあるモデルとしてとらえたり、その解決の法則や手法を発見することも、SEには必要であ

●日本のシステム科学●

●第21回

日時：12月6日(土) 14:00~17:00 出席者：6名

場所：八丁堀 東京都勤労福祉会館 第3洋室

テーマ：MERGER & AQUISITION (企業買収)

自由主義経済圏の先進国では企業の合併・獲得(企業買収)が行なわれることがある。しかしそれぞれのお国柄や文化の相異により、友好的買収になるか、非友好的な買収(いわゆる乗っ取り)が多いかの相異が存在する。そこで、日本とアメリカにおける事例について検討してみることにした。それがこの研究発表となった次第であります。日本はやはり日本的なようであります。

りましょう。とすると、いまひとつ適性検査だけではなく、ORの問題も出題してみても? ……そうすれば、大学にもっと期待していただいても良いのだけれどなんて、4年生ともども思ったりもしているのです。

浅野美代子 有限会社エー・シー・エス

長年勤めた銀行を退職して、信州に住んで早くも2年半過ぎました。だんだん、こちらの生活に慣れてきて、ときおり肩と肩がすれ合うような東京へゆくと、広い犀川の河川敷がなつかしくなったり、人に会うのがつらくなったりしてしまい、これではいけない、ということで今年の3月から仕事をはじめました。

科学計算プログラム開発を中心に、OR、AI、VAN、事務処理プログラムなどの開発を行っております。誰にでも、わかりやすい使いやすいプログラムの開発をめざし、色々な方々とともに取り組んでゆきたいと願っています。

OR学会は、会員らしい活動もまったくしておりませんが、創立後初めての仕事がAHP(階層分析法)のプログラム作成でしたので、ORと関係なくもなさそうです。

(本社住所 長野市若里1136-22 カンカン5番館

電話 0262(28)0019 FAX 0262(28)0019)

会合記録

庶務幹事会 11月4日(火)(7)
編集委員会(OR誌)11月5日(水)(8)

理事会 11月10日(月)(19)

研究小委員会 11月17日(月)(5)

表彰委員会 11月28日(金)(6)

第4回理事会議題

61-11-10

1. 第3回理事会議事録の件
2. 支部長会議開催報告の件